

第1期における調査の進捗状況について

第1期（平成15年度 - 平成16年度）における調査の進捗状況については、以下のとおり。

1 小委員会の開催状況

平成16年2月17日（火）に第4回小委員会を開催し、「安政江戸地震」及び「明暦の江戸大火」報告書案について審議。

2 調査の進捗状況

1662 寛文二年近江・若狭地震

- ・分科会を1回開催。なお、3月16 - 17日にかけて近江・若狭地方の現地視察及び第2回分科会を開催予定。
- ・地震による被害が農山村、漁村及び都市と広範囲に広がっており、社会状況や被害状況、対応等に関して地域的な特色があることから、それぞれの地域について、地質学上の見地と歴史学上の見地の双方から検証・記述する予定。

1854 安政東海地震・安政南海地震

- ・分科会を1回開催。
- ・先人が残した知恵を中心に、対象地域を絞って取りまとめる方針。

1896 明治三陸地震津波

- ・昨年12月に現地調査を実施するとともに、分科会を開催。
- ・平成16年9月末までを目途に報告書を完成予定。

1982 長崎豪雨災害

- ・分科会を2回開催。
- ・平成16年9月末までを目途に報告書を完成予定。

1888 磐梯山噴火

- ・分科会を2回開催するとともに、現地調査を2回実施。
- ・磐梯山噴火に関する未発表写真について、平成16年2月25日に公表。

1890 エルトゥールル号事件

- ・分科会を1回開催。
- ・一度に500人もの外国人が亡くなった災害であるため、他の災害とは異なった教訓を導き出していく方針。

3 新たな分科会の設置について

「天明の浅間山噴火」及び「富士山宝永噴火」の2災害について、新たに分科会を設置し、調査に着手する。

【第1回分科会の開催予定】

天明の浅間山噴火：平成16年3月9日（火）

富士山宝永噴火：平成16年4月中旬